

LGBT 法連合会 候補者アンケート回答

氏名・所属 宮本 徹 日本共産党 比例東京・東京20区重複立候補 予定

問1 党のマニフェスト・公約に性的指向・性自認に関する人権を保障する施策について記載はありますか。(選択式)

1 記載がある

問2 超党派の「LGBTの課題を考える議員連盟」で今年5月に与野党合意に至った法案について賛成ですか反対ですか(選択式)

1 賛成

問3 性的指向及び性自認に関する法整備について、いつまでに成立させるべきとお考えですか(選択式)

1 早急に成立させるべきだ

問4の調査票

すべて「賛成 1」に○です

問5の調査票

すべて「積極的に見直して改正すべき 1」に○です

問6. 最後に感想や、当事者やその家族の皆さんへのメッセージなど自由にコメントをお願いします。

私たち日本共産党は2020年に党綱領を改定し、「ジェンダー平等社会をつくる」ことを掲げ、「性的指向と性自認を理由とする差別をなくす」と明記しました。皆さんの声と運動に学びながら、この実現に全力を尽くす決意です。

2018年に野党が提出したLGBT差別解消法案を受け、今年の通常国会で与党提案のLGBT理解増進法が、皆さんの大きな運動に押されて提出間際まで行ったにもかかわらず、自民党内の反対派によって先送りとなってしまったことは本当に悔しいことでした。差別

発言が政治家から飛び出し、SNS 上での差別的言説も加速するというバックラッシュが今起きています。このことで当事者の皆さんが、どれほど深く傷つけられているかを考えると、いたたまれません。

明治憲法下の家父長制の価値観・家族観を今日まで引きずっている人たちが政権の中枢にいる限り、ジェンダー平等は実現できません。政治の転換は、命と、個人の尊厳を守る上で、待ったなしです。

政権交代を実現し、同性婚や LGBT 平等法の制定を一刻も早く進めたいと決意しています。今回の私たちの総選挙政策については、「12、性的マイノリティー (2021 総選挙／各分野政策)」をご参照ください。

性別にかかわらず誰もが尊厳を持って、自分らしく生きられるジェンダー平等社会の実現へ、ご一緒に力を合わせましょう。

=